

神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・VI

山田 和彦・工藤 孝浩

Kazuhiko Yamada and Takahiro Kudo :
Landing Fishes on Misaki Fisheries Market, from Sagami Bay, V

はじめに

筆者らは、相模湾の魚類相を明らかにするために、1984年から三崎魚市場での調査を継続的に行っている。前報までに434種を報告した(山田・工藤, 1996)が、その後新たに24種が追加されたので報告する。

調査方法

調査は、三崎魚市場に水揚げされる魚類のうち、相模湾で採集されたものについて行った。調査期間は、1995年10月から1996年9月までの間で、合計57回、一カ月平均5回の調査を行った。その日水揚げされた魚類の、魚種、採集場所、採集方法を記録した。採集場所を図1に示す。初記録種及び現場での種類の判別が困難なものは、標本として採集し、横須賀市自然博物館魚類資料(YCMP)、神奈川県立生命の星・地球博物館魚類資料(KPM-NI)として登録した。また、標本入手不可能なものは、写真に収め記録した。魚種名、分類及び全般的な分布記録などは中坊編(1993)に従った。

海況について

1995年後半から、1996年前半にかけての相模湾付近における海況は、概ね次のとおりであった。

黒潮は1995年10月に三宅島付近をほぼ直進していたが、翌11月から3月中旬までは伊豆諸島域に冷水塊を伴う蛇行型となり、八丈島以南を迂回して流れた。そして3月下旬以降は再び三宅島から八丈島の間を直進する形に戻り、時折小規模な蛇行を生じつつも10月まで直進基調で経過した。

相模湾内の水温は平年(過去30年以上の平均値)より低めで経過し、平年水温を上回った時期は10月中下旬、12月上旬の2回のみだった。特に、冷

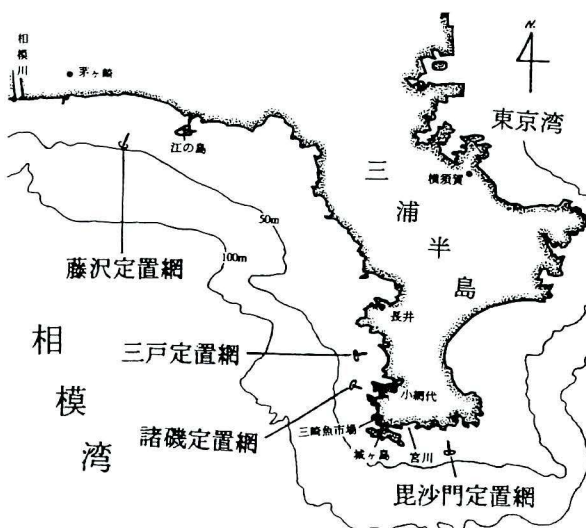


図1 採集地及び周辺海域の水深

水塊の影響を受けた2月中旬から3月中旬までは
平年に比べて1.5～2.5℃も低い低温現象が続いた。

この間相模湾への暖水波及は非常に少なかったが、11月上旬、3月下旬、9月上旬に通常見られない暖流性や外洋性の魚類が出現した。それら3時期の海況を検討したところ、黒潮は10月下旬に直進型から蛇行型へ、3月下旬に蛇行型から直進型へと大きく流路を変えており、また9月上旬には伊豆諸島上で小蛇行を生じていた。そして、それぞれの時期には伊豆諸島沿いに北上する黒潮系暖水が観測されており、これら暖流性や外洋性の魚類は数少ない暖水波及に伴って現われたものと考えられた。

調査結果

以下に本目録に追加される各魚種の採集年月日、採集場所及び採集方法、全長(TL)又は体盤幅(DW)、登録番号、分布記録等を述べる。

435. ネムリシビレエイ *Crassinarke dormitor*

1996年9月1日, 藤沢定置網, TL: 298mm,
YCM-P 35317

本種は, 南日本から南シナ海にかけて分布し,
相模湾からは初記録。

436. カラスエイ *Dasyatis violacea*

1996年8月25日, 藤沢定置網, DW: 575mm,
♀ KPM-NI 2816

本種は, 南日本以南, 世界の温熱帯海域に広く
分布する。外洋性で, 相模湾からの文献記録は無
いが, 8月から10月にかけて三戸定置網や, 他の
三浦半島西部の定置網で漁獲されたのを確認して
いる。

437. イズヒメエイ *Dasyatis izuensis*

1995年11月3日, 諸磯定置網, DW: 233mm,
♀ YCM-P 35301

本種の分布は, 伊豆半島の沼津及び下田付近と
されているが, アカエイ *D. akajei* と混同されて
いる可能性が高く, 分布はより広範囲に及ぶもの
と思われる。相模湾では, 本個体のほか, 小田原
で採集されている (KPM-NI 2751)。三崎では,
本種の記載 (Nishida・Nakaya, 1988) 以来注意
していたが, 今まで採集していないので, 通常は
分布していないものと思われる。当日は, 前日か
ら南風が強く吹いており, 沿岸水の擾乱によって
来遊した可能性が高い。

438. カライワシ *Elops hawaiiensis*

1996年9月8日, 宮川湾ボラ刺網, TL: 1130mm,
KPM-NI 2817

幼魚は, 利根川河口, 横浜 (工藤ほか, 1986) か
ら記録があるが, このような大型の個体の出現は,
きわめて稀。

439. ミナミホタテウミヘビ

Pisodonophis cancrivorus

1996年3月20日, 三戸定置網, TL: 531mm,
YCM-P 35318

山田・工藤 (1992) の No. 369. ミナミホタテウ
ミヘビは, 波戸岡 (1993) に従い, ホタテウミヘビ
P. zophistius とする。ホタテウミヘビは, 三崎
周辺の定置網でも時々漁獲される。本種は, 南日
本以南, インド・太平洋海域に分布するとされる
が, 相模湾からは初記録である。

440. アカグツ *Halieutaea stellata*

1996年7月14日, 三戸刺網, TL: 186mm,
YCM-P 35319

岩手県以南, インド洋まで分布する。三崎では,

城ヶ島の刺網で時々得られるが, 食用にしないの
で, 三崎市場ではほとんど見られない。以前, 手
繰り網が行われていたころは, フサアンコウ類と
ともに, 多量に採れた (竹内氏私信)。

441. ナミノハナ *Iso flosmaris*

1996年3月20日, 三戸定置網, TL: 85mm,
YCM-P 35320

南日本各地に分布し, 三浦半島南西部 (工藤・
岡部, 1991), 城ヶ島 (岡部, 1993), 芝崎 (萩原・
長谷川, 1990) から記録がある。潮間帯の岩礁や
タイドプールで普通に見られるが, 沖合にある定
置網に入ることは稀。

442. ヤマヒメ *Snyderina yamanokami*

1996年3月24日, 長井ヒラメ網, TL: 220mm,
YCM-P 35321

奄美大島, 鹿児島, 駿河湾, 伊豆大島, 城ヶ島
から記録がある (瀬能・今井, 1993)。稀種とされ
ているが, 長井沖にはまとまっているらしく, 同
じ網に4匹かかったほか, 1994年3月30日に3匹
(YCM-P 35150) 得ている。本個体も含め, すべ
て水深100~200mに仕掛けられたヒラメ網にかかっ
た。脱皮しかけており, 採集時にはボロを着て薄
汚れた感じであったが, 撮影時には, 古い皮がす
るすると剥け, 美しくなってしまった。

443. イゴダカホデリ *Lepidotrigla alata*

1996年6月9日, 三戸定置網, TL: 63mm,
YCM-P 35323

南日本から南シナ海に分布する。横浜 (工藤ほ
か, 1996) から記録がある。三崎では, 他のカナ
ガシラ類に比べ稀。

444. スイ *Vellitor centropomus*

1996年9月23日, 毘沙門定置網, TL: 143mm,
YCM-P 35322

本州中部以北, 東北地方まで分布する。相模湾
では, 三浦半島南西部 (工藤・岡部, 1991), 芝崎
(萩原・長谷川, 1990), 天神島 (林, 1995) から記
録がある。潮間帯の岩礁に生息しているため漁網
にはかかりにくい。

445. ヤナギアナハゼ *Pseudoblennius* sp.

1995年11月18日, 三戸定置網, TL: 106mm,
YCM-P 35304

丹後半島沖水深80m, 伊豆半島南部田の浦湾
(東ほか, 1989) から記録があるほか, 1996年7月
10日毘沙門定置網, 三浦半島西部の芦名の水深15
mから写真記録 (KPM-NR 4183) がある。他のア
ナハゼ類に比べ生息場所が深いため, 記録が少な

いと思われる。

446. アオハタ *Epinephelus awoara*

1996年9月8日, 藤沢定置網, TL: 約350mm

東京, 新潟以南, 南シナ海に分布するとされるが, 三崎では極めて稀。

447. ヒレナガカンパチ *Seriola rivoliana*

1995年11月5日, 三戸定置網, TL: 327mm,
YCM-P 35302

南日本以南, 世界の暖海に分布。相模湾での文献記録は無いが, 伊豆海洋公園では, カンパチより本種のほうが多く観察されている(瀬能氏私信)。三浦半島では極めて稀で, 本個体も, 同じサイズのカンパチの群れに1匹だけ混じっていた。

448. クログチ *Atrobuca nibe*

1996年7月14日, 藤沢定置網, TL: 382mm,
YCM-P 35324

南日本以南, 東シナ海に分布。相模湾初記録。7月中旬から9月上旬にかけて, ニベやシログチに混じって漁獲された。大型の個体が多く, 20cm以下の個体は見られなかった。

449. イッテンアカタチ *Acanthocephala limbata*

1996年8月28日, 藤沢定置網, TL: 837mm,
YCM-P 35325

本州中部以南, 台湾に分布。相模湾からは, 西湘(林・西山, 1980)から記録がある。

450. キビレミシマ *Uranoscopus chinensis*

1996年7月28日, 毘沙門定置網, TL: 260mm,
YCM-P 35326

琉球列島を除く南日本と, 黄海から南シナ海に分布。相模湾でも小田原から採集されている(KPM-NI 2117)。広く分布すると思われるが, ミシマオコゼと混同されている可能性がある。

451. イカナゴ *Ammodytes personatus*

1996年3月27日, 三戸定置網, TL: 180mm,
YCM-P 35327

沖縄を除く日本各地, 朝鮮半島に分布し, 佐島(林・伊藤, 1974), 西湘(林・西山, 1980)から記録がある。本種は, 貝殻混じりの砂れき底を好み, 三陸, 遠州灘, 瀬戸内海などでは多獲される(浜田, 1985)が, 相模湾では漁業の対象となるほど多くなく, 三崎では稀。

452. タイワンイカナゴ *Embolichthys mitsukurii*

1996年8月11日, 毘沙門定置網, TL: 183mm,
YCM-P 35328

相模湾以南, 南シナ海に分布する。長井では前種より多く見られる(竹内氏私信)が, 三崎では稀。

453. ヌメリゴチ *Repomucenus lunatus*

1996年7月24日, 藤沢定置網, TL: 137mm,
YCM-P 35329

福島から高知, 秋田から長崎, 朝鮮半島南岸に分布し, 相模湾では, 天神島, 葉山(林・伊藤, 1974)から記録がある。

454. オニテングハギ *Naso brachycentron*

1996年9月8日, 藤沢定置網, TL: 650mm,
KPM-NI 2818

屋久島以南(市川ほか, 1992), インド・西太平洋の暖海域に分布する。当日一時的な黒潮系暖水の流入があったと思われ, ほかにカライワシやギンガメアジ(40cm)が見られた。相模湾初記録であり, 本種の北限となる。

455. アラメガレイ *Tarphops oligolepis*

1996年9月23日, 藤沢定置網, TL: 76mm,
YCM-P 35330

千葉県以南, 南シナ海に分布する。相模湾北部の水深40m以浅で行った試験底引き網では, 異体類中最も多く漁獲された(亀井, 1980)。

456. キビレカワハギ

Thamnaconus modestoides

1996年3月27日, 小網代刺網, TL: 354mm,
YCM-P 35331

小笠原, 琉球列島, 台湾, 北西オーストラリア, 中部インド洋, 南アフリカから記録がある。ウマズラハギに似るが, 眼がやや大きく, 鰓孔が眼の前半下方にあるほか, 各鰭が黄褐色をしているので区別できる。同日, 本個体のほか, 小網代定置網で1匹, 城ヶ島刺網で約6匹採れたが, 長井では, この後5月頃までヒラメ網等にかかっていた(竹内氏私信)。この時期, 相模湾では, 一時的な暖水の流入があったと思われ, 本種のほか, ミナミホタテウミヘビ, キビナゴなど通常見られない魚類が出現したほか, ツメイカの大量出現もあった。相模湾初記録であり, 本種の北限を大幅に更新した。

457. ゴマフグ *Takifugu stictonotus*

1995年11月3日, 三戸定置網, TL: 206mm,
YCM-P 35303

北海道南部以南, 黄海から東シナ海に分布する。三崎では, ショウサイフグ, マフグなどに比べて少ない。

458. ヤリマンボウ *Masturus lanceolatus*

1995年11月3日, 三戸定置網, TL: 約1300mm
伊豆半島, 日本海以南, 世界の温熱帯海域に分

布する。相模湾での文献記録は無い。三崎では、マンボウは定置網で普通に漁獲されるが、本種は大型になると、尾の突起が短く不明瞭になるため、マンボウと混同されている可能性がある。

おわりに

本報告を作成するに当たり、標本登録の便をはかってくださり、種々ご教示いただいた神奈川県立生命の星・地球博物館の瀬能 宏博士、横須賀市自然博物館の林 公義氏、ネムリシビレエイについてご助言いただいた高木和徳博士、数々のご教示をいただいた京急油壺マリンパークの竹内経久氏、資料収集にご協力いただいた丸タ丸、共栄丸、丸共丸、諸磯丸、丸吉丸、三崎沿岸漁業協同組合の今井道広氏ほかの方々に深く感謝する。

文献

- 萩原清司・長谷川孝一, 1990. 葉山町芝崎周辺の魚類. 神奈川自然誌資料, (11): 103-110.
- 波戸岡清峰, 1993. ウミヘビ科. 177-184. in 中坊徹次編. 日本産魚類検索－全種の同定. 東海大学出版会, 東京.
- 浜田尚雄, 1985. 我が国におけるイカナゴの生態と漁業資源. 水産研究叢書, 36. 日本水産資源保護協会.
- 林 公義, 1995. 横須賀市自然博物館付属, 天神島臨海自然教育園海域の魚類相－魚類相の環境指標化への試み－. 横浜国立大学環境科学研究センター紀要, 21(1): 243-258.
- 林 公義・伊藤 孝, 1974. 横須賀市佐島, 天神島・笠島沿岸の魚類. 横須賀市博雑報, (20): 37-50.
- 林 公義・西山喜徳郎, 1980. 西湘定置網で漁獲された魚類－相模湾魚類目録・I. 神奈川自然誌資料(1): 15-27.
- 東 禎三・林 公義・長谷川孝一・足立行彦・萩原清司, 1989. 伊豆半島須崎, 田の浦湾周辺海域の魚類. *Bull. Coll. Agr. Vet. Med. Nihon Univ.*, (46): 175-185.
- 市川 聡・砂川 聡・松本 毅, 1992. 屋久島産魚類の概観. 海中公園情報, (97): 3-11.
- 亀井正法, 1980. 相模湾北岸の砂底沖浜水域に生息する異体類(ヒラメ・カレイ類)の分布. 神水試研報(1): 25-33.
- 神奈川県水産試験場・神奈川県水産試験場相模湾支所, 1979. 神奈川県海域の魚類および種別研究の現状. 相模湾資源調査報告書, (1): 1-33.
- Nishida K. and Nakaya K., 1988. *Dasyatis izuensis*, a New Stingray from the Izu Peninsula, Japan. 魚類学雑誌, 35(3): 227-235.
- 工藤孝浩・鴨川宗洋・伊藤俊弘, 1986. 横浜市沿岸域の魚類相. 横浜の川と海の生物(第4報), 横浜市公害対策局公害資料, (126): 181-226.
- 工藤孝浩・岡部 久, 1991. 三浦半島南西部沿岸の魚類. 神奈川自然誌資料, (12): 29-38.
- 工藤孝浩・中村良成・清水詢道, 1996. 横浜, 川崎および中の瀬海域から初記録の魚類-II. 神奈川自然誌資料 (17): 63-72.
- 中坊徹次編, 1993. 日本産魚類検索－全種の同定－. 1474pp., 東海大学出版会, 東京.
- 岡部 久, 1993. 神奈川県水産試験場地先における灯火採集で得られた仔稚魚. 神水試研報, (14): 53-60.
- 瀬能 宏・今井圭介, 1993. ヤマヒメ. 伊豆海洋公園通信, 4(11): 1.
- 山田和彦・工藤孝浩, 1992. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・Ⅲ. 神奈川自然誌資料, (13): 45-53.
- 山田和彦・工藤孝浩, 1993. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・Ⅴ. 神奈川自然誌資料, (17): 73-76.
- (山田: おさかな普及センター資料館, 工藤: 神奈川県水産総合研究所)

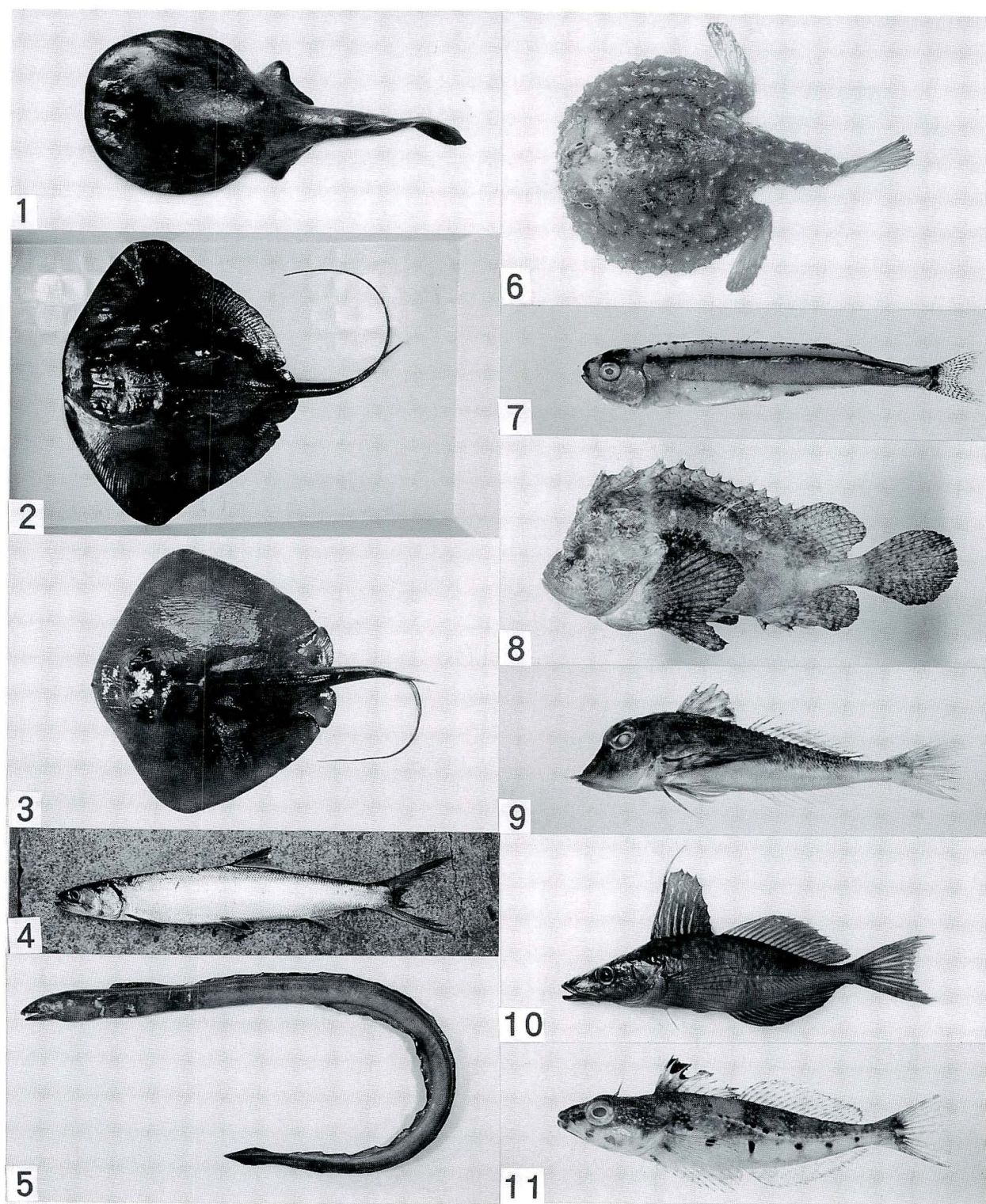


図 2

1. ネムリシビレエイ *Crassinarke dormitor* 2. カラスエイ *Dasyatis violacea* 3. イズヒメ
 エイ *Dasyatis izuensis* 4. カライワシ *Elops hawaiiensis* 5. ミナミホタテウミヘビ
Pisodonophis cancrivorus 6. アカグツ *Halieutaea stellata* 7. ナミノハナ *Iso flosmaris*
 8. ヤマヒメ *Snyderina yamanokami* 9. イゴダカホドリ *Lepidotrigla alata* 10. スイ *Vellitor*
centropomus 11. ヤナギアナハゼ *Pseudoblennius* sp.

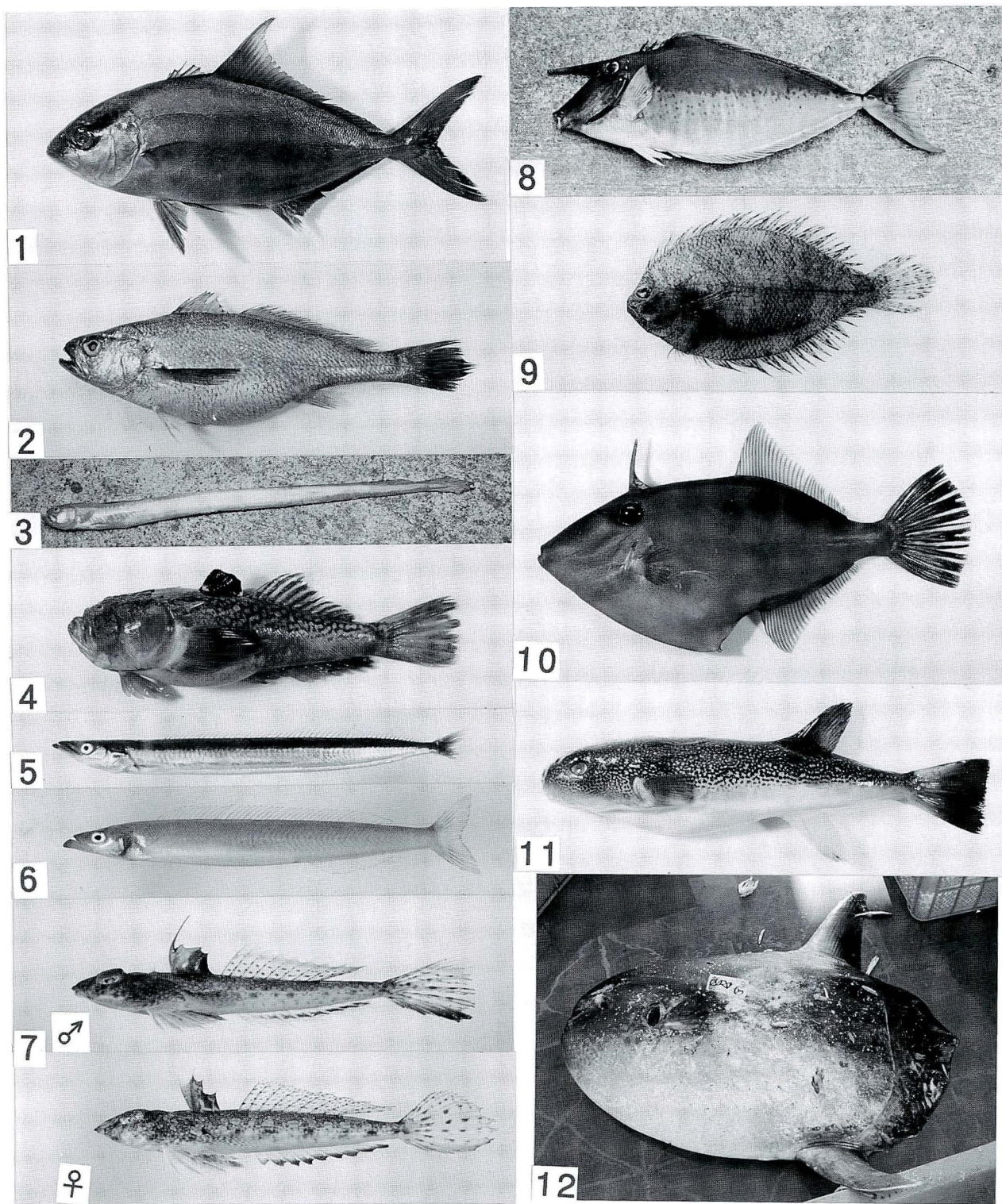


図 3

1. ヒレナガカンパチ *Seriola rivoliana* 2. クログチ *Atrobucca nibe* 3. イッテンアカタチ *Acanthocephala limbata* 4. キビレミシマ *Uranoscopus chinensis* 5. イカナゴ *Ammodytes personatus* 6. タイワンイカナゴ *Embolichthys mitsukurii* 7. ヌメリゴチ *Repomucenus lunatus* 8. オニテングハギ *Naso brachycentron* 9. アラメガレイ *Tarphops oligolepis* 10. キビレカワハギ *Thamnaconus modestoides* 11. ゴマフグ *Takifugu stictonotus* 12. ヤリマンボウ *Masturus lanceolatus*